

# 第30回 老人福祉施設研究発表会 開催要綱

## 1. 趣旨

本研究発表会では、現場の実践から、各職場における日々の体験を発表していただき、その事例や教訓をどのように工夫し解決されたのかを学び、それぞれの職員や施設が関係を保ち、自信を持って業務に当たることができるよう、その一助となることを願い開催されます。

2. 主催 北海道老人福祉施設協議会

3. 運営 第30回老人福祉施設研究発表会 実行委員会

4. 共催 北海道社会福祉協議会、北海道デイサービスセンター協議会

5. 後援 北海道、北海道老人保健施設協議会（予定）

6. と き 平成21年11月11日（水）～12日（木）

7. ところ 札幌市/道民活動センター(かでの2・7) かでのホール他  
(札幌市中央区北2条西7丁目 TEL:011-204-5100)

8. 参加対象 老人福祉施設の施設長及び職員、デイサービスセンターの施設長及び職員  
老人保健施設の施設長及び職員、一般市民

9. 参加定員 500名

## 10. 日程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17:30
【11/11】				受付	開会	講演		全体発表	
【11/12】			分科会	閉会					

## 11. 内 容

### 【第1日目 11月11日(水)】

1) 開 会 13:00~13:15

2) 講 演 13:15~15:15 (一般公開)

『新しい認知症の医療とケア - 現場職員に期待すること - 』

講師：遠藤 英俊 氏 (国立長寿医療センター包括診療部長)

3) 全体発表 15:30~17:30 (一般公開)

一般の方や施設職員に向け、施設における取り組みや施設職員の日々の思いを伝える発表の場とします。

(1) 『家族と施設職員のコミュニケーションを考える

- ケアを支えるパートナーとして - 』

佐々木 成子 特別養護老人ホームやすらぎ荘 (主任介護員)

(2) 『主体性のある個別ケアへ向けた取り組み

- 利用者さんの輝く瞬間に会いたくて・・・ - 』

西川 浩司 オタモイデイサービスセンター (生活相談員)

(3) 『広報活動を通じた家族との関係性作りへの取り組み

- 今ある姿を受け止めて・・・認知症の事例から - 』

浅野 香理 特別養護老人ホーム北竜町永楽園 (介護福祉士)

(4) 『乾燥に負けるな！

- 感染対策委員会で取り組んだ乾燥対策 - 』

北川 幸子 特別養護老人ホーム百花苑 (介護福祉士)

(5) 『地域で暮らすために、支えるしくみづくりを考える

- 老朽化した特養の今後の展開と地域生活支援 - 』

伊藤 秀之 特別養護老人ホーム美瑛慈光園 (サポートセンター燈 所長)

### 【第2日目 11月12日(木)】

4) 分科会 9:30~12:00

・分科会の発表者については、「第30回老人福祉施設研究発表会<分科会タイムテーブル>」を参照してください。なお発表時間について、「発表15分、質疑5分、休憩移動10分」といたします。分科会の希望は取りませんので、自由に移動ください。ただし発表・質疑中の移動は厳禁といたします。

12. 参加経費

参加費 道老協・道デイ協 会 員     3,000円  
           "                  非会員     6,000円

参加費については、当日会場において申し受けます。

13. 参加申し込みについて

別添参加申込書により平成21年11月4日(水)までにFAXにて、下記宛にお申込ください。

14. お問合せ先

北海道老人福祉施設協議会事務局   担当：山崎・三島  
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 北海道社会福祉総合センター  
 北海道社会福祉協議会 福祉事業部施設課内  
 TEL 011-241-3766   FAX 011-280-3162

